

がんばろう！東北

**雄物川流域で5月期における戦後最大の水位を記録し、
各所で氾濫被害が発生
～平成30年5月18日出水（前線）の概要～**

- 昨年の7月・8月出水に続いて、雄物川流域では、活発な前線の影響で、5月18日より非常に激しい雨が降り、溢水による氾濫被害が発生しました。
- 今回の出水では、2つの雨量観測所で5月期として観測史上最大となる24時間雨量を記録し、基準地点の樺川水位観測所で5月期として戦後最大となる水位を記録しました。
- 現在、東北地方整備局では、昨年の出水を受けて雄物川の緊急的な治水対策を進めておりますが、引き続き対策を推進して参ります。

<発表記者会> 宮城県政記者会、秋田県政記者会、東北電力記者会
東北専門記者会

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局

仙台市青葉区本町 3-3-1 仙台合同庁舎 B 棟 12 階 電話 022-225-2171(代)

河川部 河川調査官 ひらの あきなり 平野 明德 (内線 3513)

河川計画課長 おくなか ともゆき 奥中 智行 (内線 3611)

平成30年5月18日出水(前線)の概要 《第1報 5月21日 14時 時点》



45k付近 9時頃撮影(大仙市)

雄物川:秋田県 中村・芦沢地区(平成30年5月19日)

東北地方整備局 河川部

※数値は速報値ですので今後の精査等により変更する場合があります。

平成30年5月18日出水(前線)の概要

○前線の影響により5月18日昼過ぎから、東北地方の日本海側で非常に激しい降雨となり、累加雨量は多いところで**200mmを超過**しました。

○秋田県にある砂子湫雨量観測所(国交省所管)では**24時間雨量141mm**、朝日又沢雨量観測所(国交省所管)では**同158mm**を記録し、**5月期の降雨では観測史上最大**となる雨量となりました。

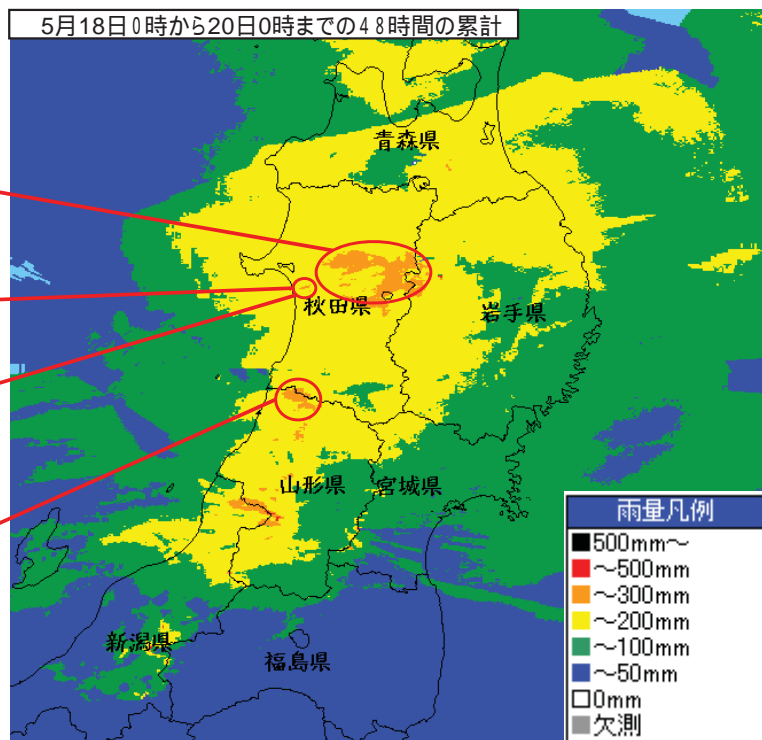
○秋田県を流れる雄物川では椿川水位観測所で**7.57m**を観測し、**5月期における戦後最大の水位**を記録しました。同じく雄物川の神宮寺水位観測所で**5.97m**、雄物川水系玉川では長野水位観測所で**3.42m**を観測し、**過去50年の5月期における最大の水位**となりました。

水位、雨量の数値は正時データ

累加雨量200mmを超えた観測所

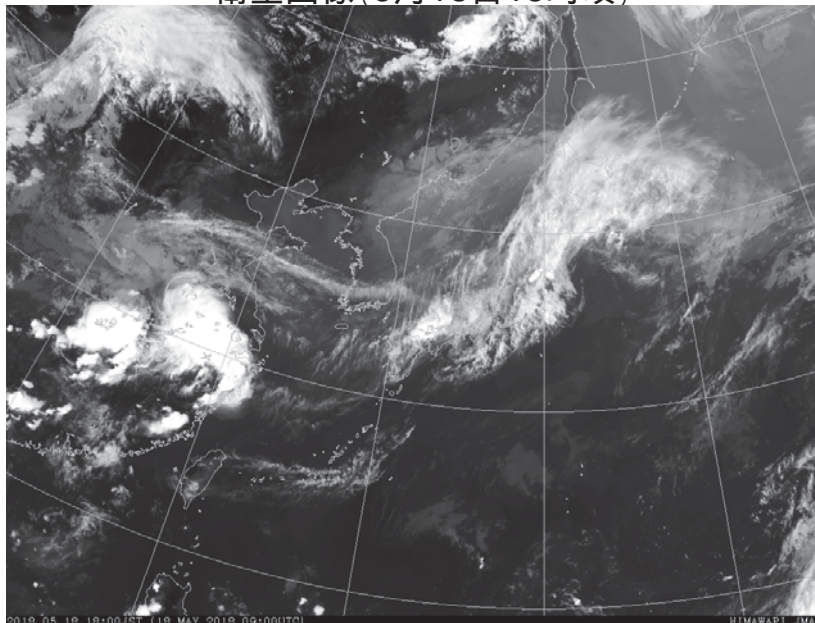
- あにあい
・阿仁合(気象庁)
(米代川水系米代川)
223.0mm
- すなこぶち
・砂子湫(国交省)
(雄物川水系岩見川)
239.0mm
- あさひまたざわ
・朝日又沢(国交省)
(雄物川水系岩見川)
271.0mm
- みょうじんさわ
・明神沢(最上総合支庁)
(最上川水系鮭川)
325.0mm

累加雨量レーダ

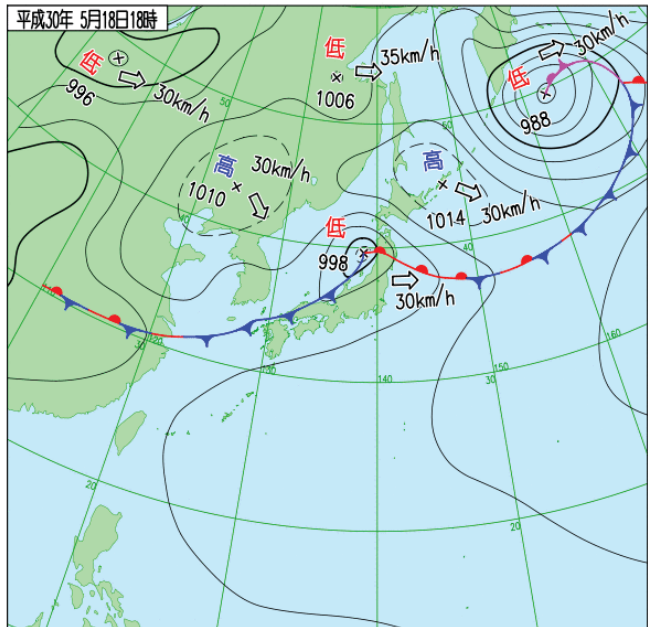


累加レーダ雨量図は統一河川情報システムより

衛星画像(5月18日18時頃)



天気図(5月18日18時頃)



天気図、衛星画像は気象庁資料より

平成30年5月18日出水(前線)における 東北地方整備局管内の直轄管理河川の状況

【平成30年5月20日 18時 現在】

1. 河川出水状況(直轄河川)

○レベル5(越水・溢水) <1河川>

・雄物川

○レベル3(避難判断水位 超過) <1河川>

・子吉川

○レベル2(氾濫注意水位 超過) <4河川>

・米代川、最上川、北上川、赤川

現在水位は水防団待機水位以下まで下降

2. 直轄ダム洪水調節状況

○直轄7ダムで防災操作を実施

四十四田ダム、湯田ダム、御所ダム、森吉山ダム
玉川ダム、寒河江ダム、月山ダム

3. 排水ポンプ車の稼働状況(現在稼働は終了)

○秋田県(秋田市、能代市、大仙市、北秋田市)

- ・排水ポンプ車 30m³/min × 3台
- ・排水ポンプ車 60m³/min × 1台
- ・照明車 × 3台
- ・待機支援車 × 1台

○山形県(鶴岡市、三川町)

- ・排水ポンプ車 30m³/min × 2台
- ・照明車 × 1台

4. 一般被害(国管理河川)

○雄物川 溢水(計8地区)

- ・左手子地区(秋田市)
 - ・中村・芦沢地区(大仙市)
 - ・寺館大巻地区(大仙市)
- ほか5地区

5. 避難指示及び避難勧告

○青森県1市で避難勧告

五所川原市

○秋田県4市4町で避難勧告

秋田市、大仙市、由利本荘市、湯上市
井川町、三種町、八郎潟町、五城目町

○岩手県1市で避難勧告

二戸市

○山形県1市1町で避難勧告

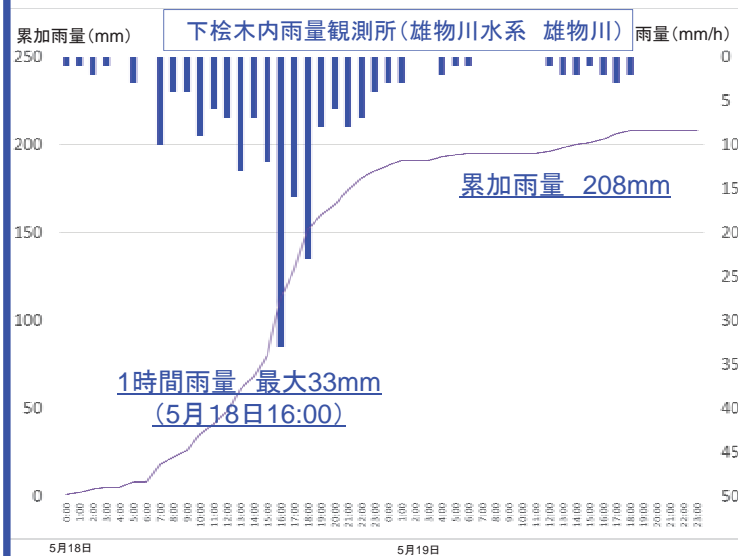
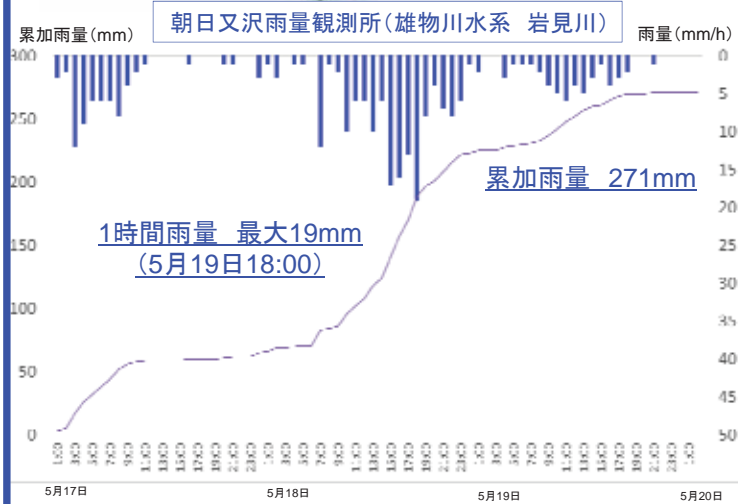
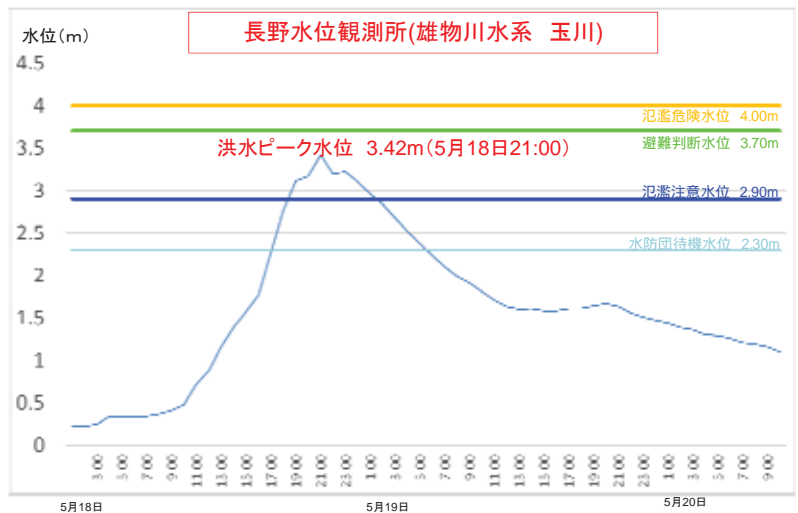
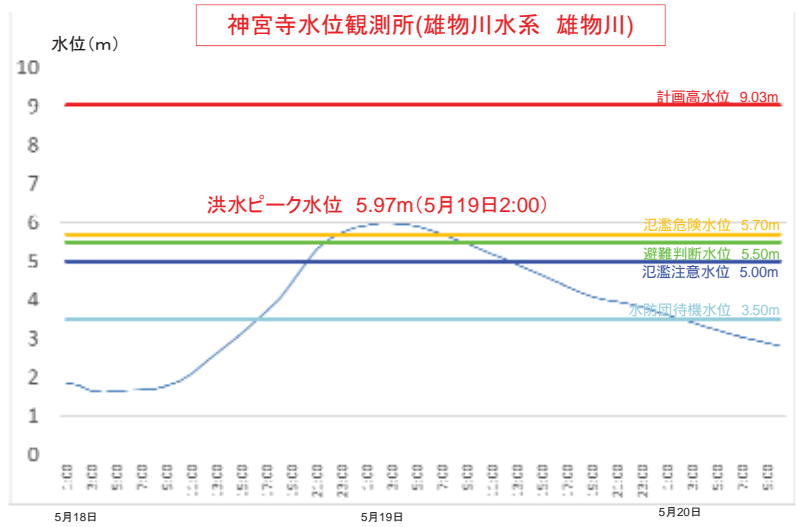
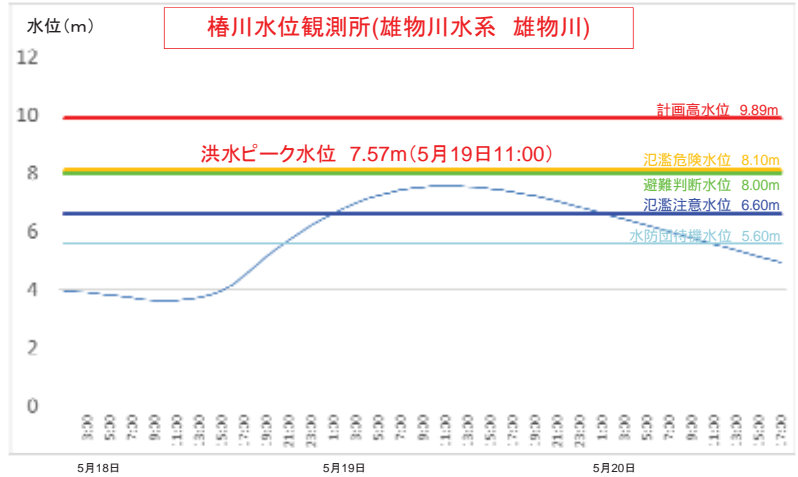
鶴岡市、真室川町

※記載の数値は速報値であり、今後変更の可能性あります。



凡 例	
—	レベル5(越水・溢水)
—	レベル4(計画高水位超過)
—	レベル4(氾濫危険水位超過)
—	レベル3(避難判断水位超過)
—	レベル2(氾濫注意水位超過)
▲	防災操作実施ダム

平成30年5月18日出水(前線)における おものがわ 雄物川流域の状況



平成30年5月18日出水(前線)における おものがわ 雄物川沿川の主な浸水状況



○H30.5.18の被害(平成30年5月20日18:00時点)

■浸水面積 速報値	
秋田市	0.82km ² (外水0.82km ²)
大仙市	1.99km ² (外水1.99km ²)
合計	2.81km ²

■浸水家屋数(住家) 速報値	
秋田市	0戸(外水0戸)
大仙市	0戸(外水0戸)
合計	0戸

数値は国土交通省調査による速報値であり、今後変更となる場合がある

ダムによる洪水調節

●平成30年5月17日から降り出した前線性の豪雨により、雄物川中流部で浸水被害が発生しました。平成3年に運用を開始した国土交通省の玉川ダムと秋田県管理の5つのダムでは、約2,340万 m^3 （東京ドーム約19個分、秋田県庁約335棟）の洪水を貯め込み、被害軽減に寄与しました。

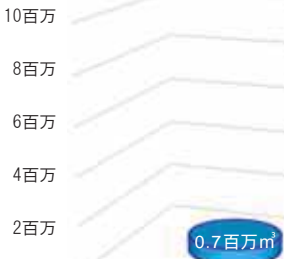
今回洪水におけるダムの洪水貯留量

岩見ダム（秋田県）



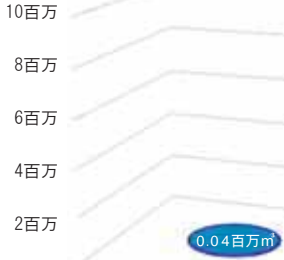
(単位： m^3)

協和ダム（秋田県）



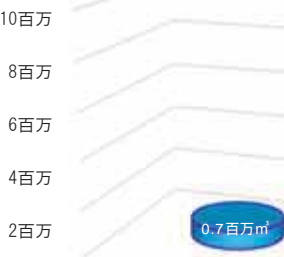
(単位： m^3)

皆瀬ダム（秋田県）



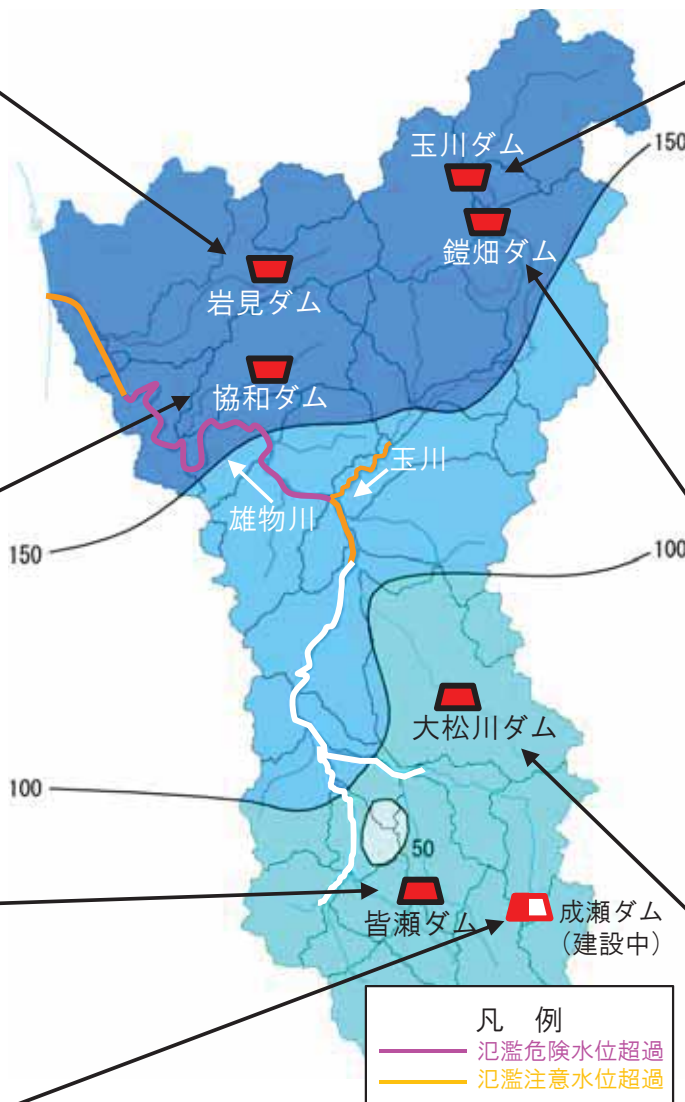
(単位： m^3)

(参考情報)成瀬ダム(国土交通省)



※成瀬ダムが完成した場合を想定
(単位： m^3)した貯留量(計算による推定値)

【降雨分布】平成30年5月17日洪水
中下流域と支川玉川に降雨が多い傾向



玉川ダム（国土交通省）



(単位： m^3)

鎧畑ダム（秋田県）



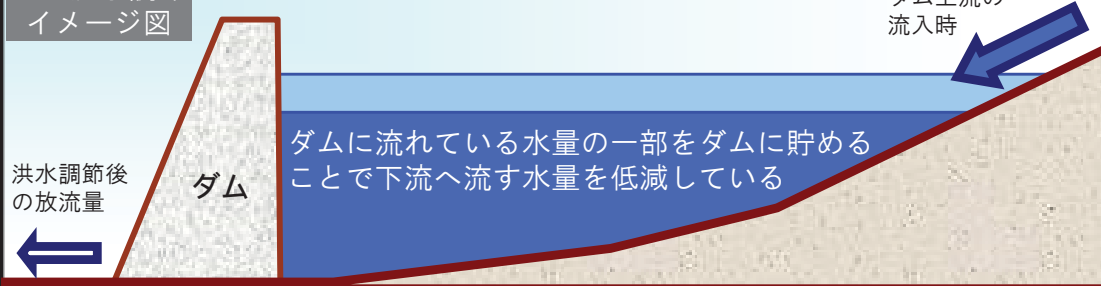
(単位： m^3)

大松川ダム（秋田県）



(単位： m^3)

ダム洪水調節 イメージ図



※記載の数値は速報値であり、今後変更の可能性があります。6

ダムの治水事業効果

累加レーダー雨量
(17日19時～19日7時)



○支川玉川に位置する玉川ダム(国)・鎧畑ダム(県)では、平成30年 5月17日から防災操作を行いました。玉川ダム管理開始以降、5月期で既往第2位の規模となる流入量(約630m³/s)を観測し、ダムに流れてくる水量の一部(約1,350万m³※東京ドーム13個分)をダムに貯めることで下流へ流す水量を最大で約70%低減しました。

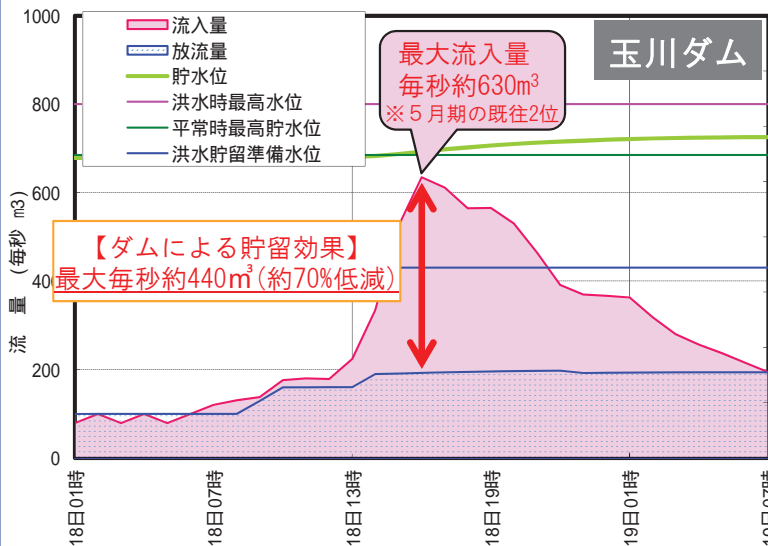
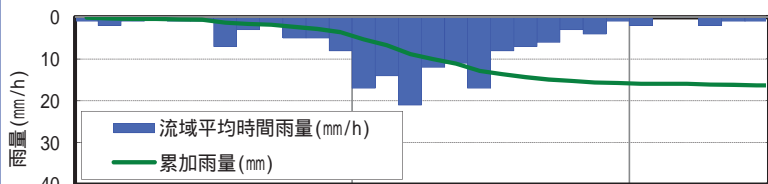
○ダムによる洪水調節の結果、玉川の水位を低下させると共に、雄物川の浸水被害軽減に寄与したと推定されます。

玉川ダム諸元(国土交通省管理)

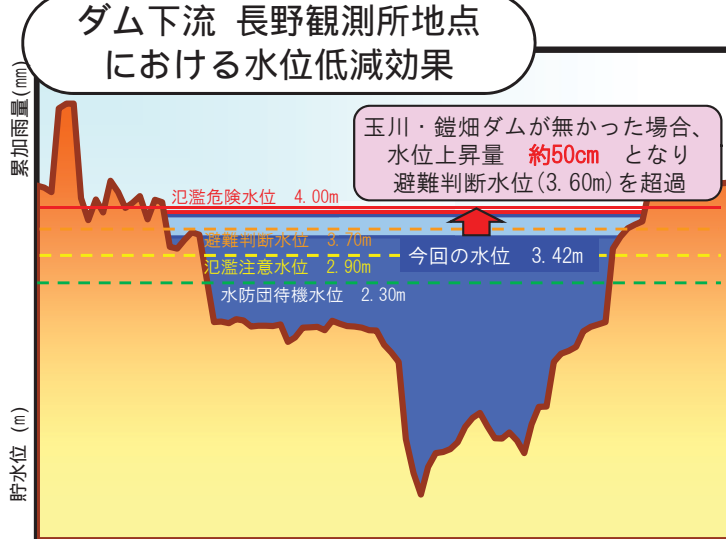
型式	重力式コンクリートダム
ダム高	100.0m
堤頂長	441.5m
総貯水容量	254百万m ³
有効貯水容量	229百万m ³

鎧畑ダム諸元(秋田県管理)

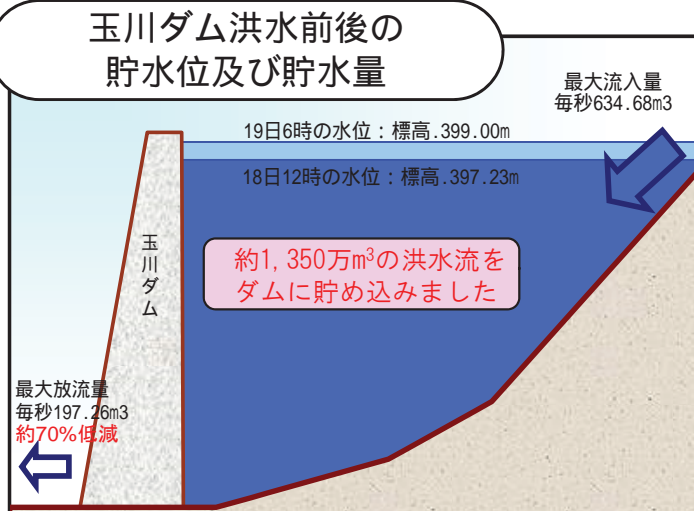
型式	重力式コンクリートダム
ダム高	58.5m
堤頂長	236.0m
総貯水容量	51百万m ³
有効貯水容量	43百万m ³



ダム下流 長野観測所地点
における水位低減効果



玉川ダム洪水前後の
貯水位及び貯水量



防災操作開始前の
貯水位 EL. 397.22m

防災操作終了時の
貯水位 EL. 399.00m

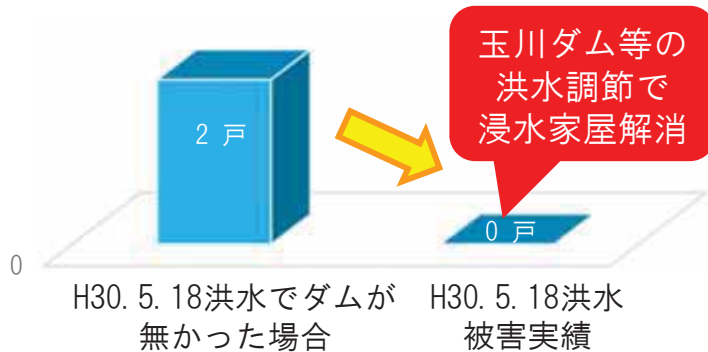
※記載の数値は速報値であり、今後変更の可能性があります。

河川改修やダム整備の治水事業効果

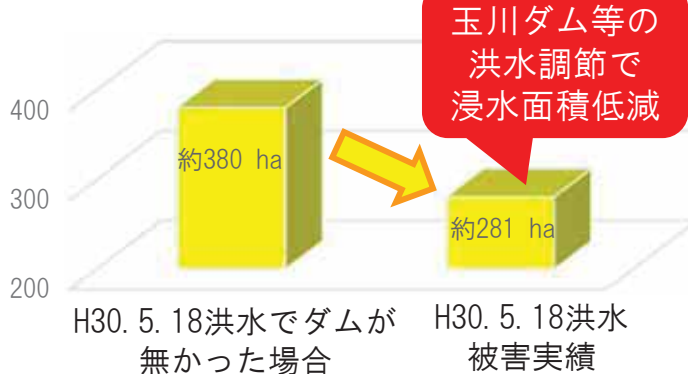
- 今次洪水において、支川玉川合流後の雄物川中下流部（大仙市周辺）では、農地等で浸水被害が発生し、外水による浸水面積は約280haにおよんでいます。
- 雄物川中下流部において、今次洪水では玉川ダム・鎧畑ダムによる洪水調節により、**浸水家屋の解消、浸水面積を約100ha（中下流部全体）軽減**したと推定できます。
- また、福部羅地区・強首地区・寺館大巻地区・刈和野地区・北野目地区・宇留井谷地地区・西板戸地区・神宮寺地区で**河川改修（堤防整備）**により**浸水被害を防止**しています。
- これまで進めてきた治水事業の結果、雄物川中下流部における洪水被害を軽減しましたが、未だ目標とする治水安全度には至っていないことから、引き続き治水事業の更なる進捗に努めて参ります。



雄物川と玉川合流下流の浸水家屋（外水による影響で推算）



雄物川と玉川合流下流の浸水面積（外水による影響で推算）



排水ポンプ車の稼働状況

自治体からの要請に応じ、排水ポンプ車を派遣し、内水を排除しました。

災害対策機械(排水ポンプ車等)の支援



- 秋田県能代市・北秋田市
 - ・排水ポンプ車 30m³/min × 1台 ※稼働終了
 - ・照明車 × 1台 ※稼働終了
- 秋田県秋田市
 - ・排水ポンプ車 30m³/min × 1台 ※稼働終了
 - ・照明車 × 1台 ※稼働終了
 - ・待機支援車 × 1台 ※稼働終了
- 秋田県大仙市
 - ・排水ポンプ車 30m³/min × 1台 ※稼働終了
 - ・排水ポンプ車 60m³/min × 1台 ※稼働終了
 - ・照明車 × 1台 ※稼働終了
- 山形県鶴岡市
 - ・排水ポンプ車 30m³/min × 1台 ※稼働終了
- 山形県東田川郡三川町
 - ・排水ポンプ車 30m³/min × 1台 ※稼働終了
 - ・照明車 × 1台 ※稼働終了

【大仙市大曲浜町地区】



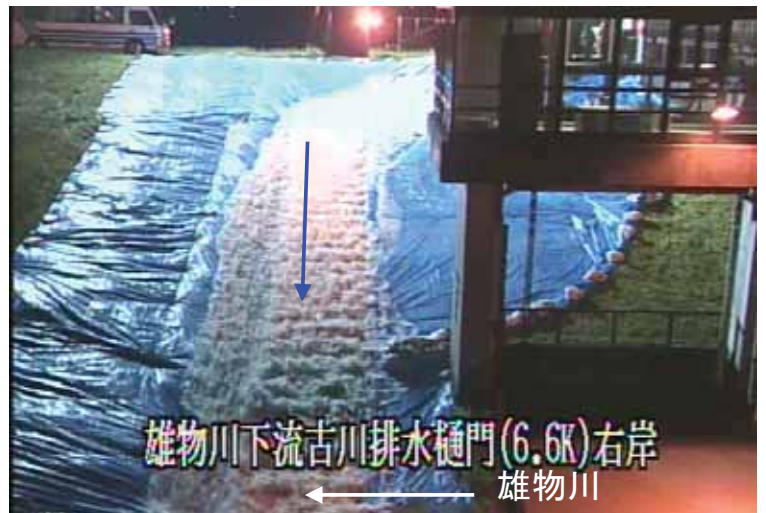
排水ポンプ車の稼働状況・効果

災害対策機械(排水ポンプ車等)の支援(秋田市)



あきたしにいだ ふるかわはいすいひもん
【秋田市仁井田地区(古川排水樋門)】

- 排水ポンプ車の稼働(約34時間)により、**61,200m³の内水を排除**しました。
(25mプール約170杯分に相当)
- 平成29年7月洪水では内水の影響により、国道13号の交通が途絶しました。
今回、排水が行われたことにより、**国道13号交通の途絶発生防止の効果**があったと想定されます。



内水(宅地側にたまった水)を雄物川へ排水



国道13号
四ツ小屋入口交差点浸水状況

平成29年7月洪水における浸水状況
(浸水により約31時間通行止め)

⇒ **今回洪水では、浸水被害なし**

排水ポンプ車の稼働状況・効果

災害対策機械(排水ポンプ車等)の支援(大仙市)



だいせんし おおまがりはまちよう はまちようひかん
【大仙市大曲浜町地区(浜町樋管)】
 ●排水ポンプ車の稼働(約8時間)により**14,790m³の内水を排除**しました。(25mプール約40杯分に相当)
 ●排水が行われたことにより、**約3haの浸水被害軽減効果**があったものと想定されます。



想定される浸水範囲
 (浸水面積: 約3ha)
 (浸水家屋数: 約101戸)

内水(宅地側にたまった水)を丸子川へ排水



だいせんし かくまがわ かくまがわ はいすい ひかん
【大仙市角間川地区(角間川排水樋管)】
 ●排水ポンプ車の稼働(約7時間)により、**24,360m³の内水を排除**しました。(25mプール約70杯分に相当)
 ●排水が行われたことにより、**約4haの浸水被害軽減効果**があったものと想定されます。

想定される浸水範囲
 (浸水面積: 約4ha)
 (浸水家屋数: 約8戸)



内水(宅地側にたまった水)を雄物川へ排水

自治体への支援状況

リエゾン(災害対策現地情報連絡員)の派遣

東北地方整備局では、自治体への支援・情報収集のため、1県2市1町1村へ10名(延べ21名)の職員をリエゾンとして派遣しました。

【リエゾン派遣状況】(平成30年5月20日12時 時点)

- あきたけんちょう
・秋田県庁 2名(3名)
- あきたけんあきたし
・秋田県秋田市 2名(6名)
- あきたけんだいせんし
・秋田県大仙市 2名(4名)
- あきたけんみたねちょう
・秋田県三種町 2名(6名)
- あきたけんかみこあにむら
・秋田県上小阿仁村 2名(2名)

()書きは延べ人数



▲リエゾン活動状況(大仙市)



▲リエゾン活動状況(秋田市)



▲秋田県対策本部会議(秋田県庁)

リエゾンとは

「Liaison」＝「つなぐ」というフランス語。

災害時に自治体へ派遣される職員(国土交通省など)を指し、災害対策現地連絡員ともいいます。

リエゾンは災害時に県庁等自治体に派遣され、情報の収集及び自治体の支援を実施します。

「逃げ遅れゼロ」を目指した取組

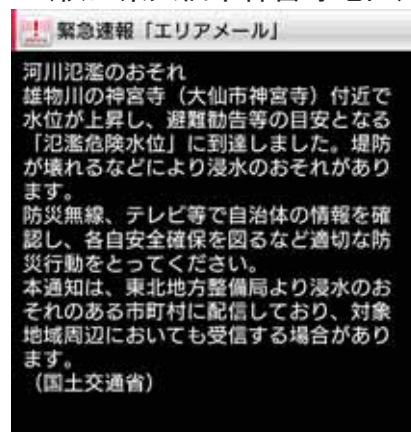
地域住民へのプッシュ型配信メール

東北地方整備局では災害発生に地域住民の方々が適切な防災行動が行われるようプッシュ型配信による情報提供を行っています。

▼プッシュ型メールの例



▼配信された緊急速報メール(5月18日 23:18)
(秋田県大仙市神宮寺地区)



自治体への洪水ホットライン

東北地方整備局では、洪水による氾濫の発生が予想される場合には、市町村長へ直接、河川水位などの情報提供を実施しています。

月日	時刻	連絡先	内容
5月18日	16:30	湯沢河国 ⇒ 大仙市	水位状況、現地状況、リエゾンの派遣
	18:24	大仙市 ⇒ 湯沢河国	水位状況、現地状況、リエゾンの派遣
	18:55	湯沢河国 ⇒ 仙北市	水位状況、支援協力体制
	18:58	湯沢河国 ⇒ 横手市	水位状況、支援協力体制
	19:01	湯沢河国 ⇒ 美郷町	水位状況、支援協力体制
	20:52	大仙市 ⇒ 湯沢河国	水位状況
	21:44	湯沢河国 ⇒ 大仙市	水位状況
	22:45	湯沢河国 ⇒ 大仙市	水位状況
5月19日	3:30	湯沢河国 ⇒ 大仙市	現地状況

今回の出水においても関係自治体と湯沢河川国道事務所で計9回に及ぶホットラインを実施



おもものがわ 雄物川における今後の河川事業の動き

- 雄物川では平成29年7月及び8月に発生した豪雨による甚大な被害への緊急的な対応として災害対策等緊急事業費(推進費)を活用して、**平成29年度より河道掘削(一般改修)や築堤(激特事業)を実施しています。**
- 浸水被害が発生した雄物川中流部における堤防整備等を**河川激甚災害対策特別緊急事業(激特事業)**として概ね5年間で築堤や輪中堤等の整備を行い、河川の氾濫による家屋の浸水被害を解消していくこととしています。
- 今後本格化していく事業を強力かつ円滑に推進していくため、**平成30年1月1日付けで「雄物川激甚災害対策特別緊急事業推進室」を設置。**



河川激甚災害対策特別緊急事業の概要

- **事業費** 約218億円 ※推進費を含む
- **整備内容** 堤防整備(築堤、嵩上げ)等
- **事業期間** 平成29年度～平成34年度

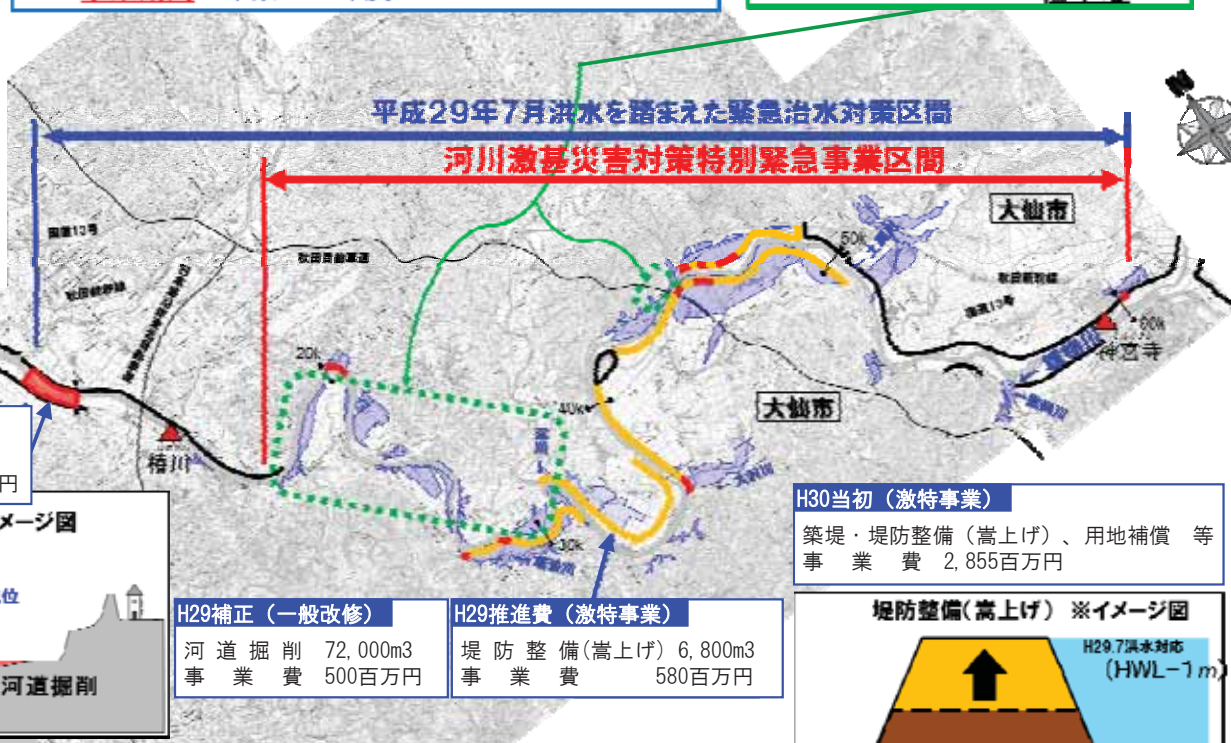
災害対策等緊急事業推進費の概要(一般改修)

- **事業費** 約17億円
- **整備内容** 河道掘削
- **事業期間** 平成29年度

可能な限り迅速に家屋浸水リスクを軽減させる対策(輪中堤) ※イメージ図



- 凡例
- 堤防整備済み
 - 堤防整備(嵩上げ)
 - 堤防整備(築堤)
 - 河道掘削
 - ▲ 基準点・主要地点
 - H29.7洪水浸水範囲(外水)



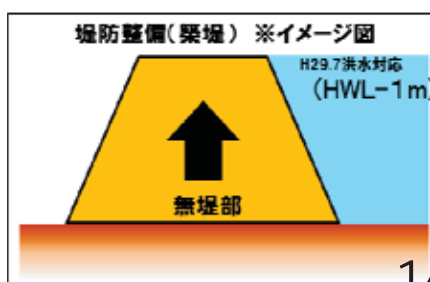
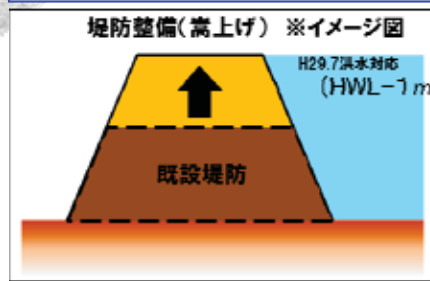
H29補正(一般改修)
河道掘削 170,000m3
事業費 1,720百万円



H29補正(一般改修)
河道掘削 72,000m3
事業費 500百万円

H29推進費(激特事業)
堤防整備(嵩上げ) 6,800m3
事業費 580百万円

H30当初(激特事業)
築堤・堤防整備(嵩上げ)、用地補償等
事業費 2,855百万円



激特推進室の設置(平成30年1月1日付)



推進室看板設置式(H30.1.19)



テレビ会議を活用した調整会議

東北地方整備局における 5月18-19日の対応状況

東北地方整備局の体制

本支部名	現状	状態	注意体制	警戒体制	非常体制
本部・河川		開始	18日 09:30	18日 18:20	18日 22:50
		解除	20日 10:19	20日 01:40	19日 10:30
本部・ダム		開始	18日 06:00		
		解除	19日 10:30		

▼ 災害対策本部(18日22:30)



▼ 災害対策本部会議(19日09:00)

